

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番

'99.11.16 No. 5047

この一年間は、港合同排除の攻撃と倒産・組織破壊攻撃との闘いであった。
七〇年代に遭遇した倒産攻撃とは違う強行倒産攻撃を、二〇年の歳月を乗り越えて、倒産・組織破壊攻撃と闘い抜く。
労働法政の完結としての一年間―労基法、女子保護規定の撤廃など、労働者保護の規定が、産業競争力の名の下に、法の基本精神の解体攻撃として強行されてきた。
産業、経済、金融の危機が、労基法の改悪をもたらし、この



団結の旗を高々と!

金属機械港合同 辻岡執行委員

よびかけ3組合
代表あいさつ (要旨)

—11・7全国労働者総決起集会—
(文責: 日刊編集委員会)



改悪が多岐の不安定労働者を生み出すなど、派遣法の解禁と一体となつて進むだろう。
五・二八国労への反動判決に見られるように、集团的労使関係を否定する攻撃は、労働運動の後退を生み出し、解体を策している。
産業再生法とは、国家が法の名の下において、大リストライ首切りの道を容認したものだ。
こうした時にこそ、団結の旗を高々と掲げて闘うことが肝要だ。
港合同排除の攻撃、倒産・争議・刑事弾圧と三〇年間闘い抜き、我々自身の戦闘的・階級的な運動を進めて行く中で、JAMとの決別を選択した。
われわれは、あらゆる反動と闘い、中小労働者と連帯し、あくまで現場で闘い、攻撃の元凶と真つ向から闘っていききたい。



産業別雇用協定を實現

全日建関西生コン支部 川村副委員長

一昨年年明け早々の三名の不当逮捕―七四日間の長期拘留弾圧攻撃に始まり、今年二月の二億六千万にも及ぶ損害賠償等々、七〇年代、国労にかけられた攻撃と同質の攻撃との闘いであった。
山陽新幹線の剥落事故など、阪神・淡路大震災以降、生コンの品質について、業者団体と生コン労働者五団体で、集団交渉をしている。
この闘いを通して、共同組合

の強化、健全な労使関係、生コンの安定供給など、政策的に進めている。われわれは製造・運搬している立場から、欠陥工事など、こんな事故を根絶して行く。
今春闘を、関西での労働五団体集団交渉―生コン業界が共同して、休業保障、産業別雇用協定を勝ちとつた。
原則的、柔軟な闘いの産別的な闘いの成果を確認できる。
やられたらやり返す思想は重

動労千葉は、動労本部との決別―分離・独立から二〇年、政府・国家をあげた分割・民営化攻撃の中で、四〇名の解雇攻撃を受けたが、今、われわれはここに立ち、元気に闘い続けている。われわれの地道な闘いが大きくなる機が熟した。
産業再生法、国家的なリストラ攻撃が吹き荒れている。
首切り企業に資金を注ぎ込むのが産業再生法だ。こんなデータがまかり通つていいはずがない。今日の集会はこれに反撃していく闘いだ。

われわれは、社会の在り方を問う。社会を変えていく闘いに立ちあがる。
資本主義とは、無限に資本を増やしていく社会だ。現在、世界には飢えている人々が無数に存在するなど、労働者が犠牲になつていく。資本主義のその末期症状は、戦争へと進む。
ガイドライン法案の強行によつて、社会の仕組みが変えられていく。これまでの闘いも根本的に構え直さなければならぬ。
「連合」は、平時、有事、など、労働組合が戦争を推進することに踏み込んだ。首を切つているのは資本であり、われわ

社会を変える闘いを

動労千葉 田中書記長

これは正反対の道を突き進む。
一三年経過した解雇撤回―清算事業団闘争は、続いていることと大変な意義がある。あらゆるところで闘いが広がったときには、簡単に首を切れない状況を生み出す。
新たな国鉄労働運動破壊攻撃が激化している。国家的不当労働行為―国、政府、JRに責任をとらせる、全国で首を切られた労働者の怒りの結集の矢面に立つて闘うことこそが求められている。
闘う労働組合の全国ネットワークの構築に向けて、全国津々浦々で闘いに立ちあがるう



大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!